

米沢市学校給食検討委員会第7回委員会 議事録

日時 令和3年2月3日(水)

開会 11時00分

閉会 12時15分

場所 置賜総合文化センター
203研修室

1 出席委員

委員長	山田 英明	委員	丸川 信明	委員	安部 一博
委員	田畑 広志	委員	佐藤 朋江	委員	蓮沼ちえ子
委員	佐藤由美子				

2 出席職員

教育管理部長	渡部 洋己	教育指導部長	今崎 浩規
教育総務課長	小田 浩昭	教育総務課長補佐	米原 裕美
教育総務課総務主査	佐藤 真英	教育総務課施設主査	玉虫 弘之
学校教育課長	山口まゆみ	学校教育課長補佐兼保健給食主査	金子いく子
学校教育課適・適室長	樋口 進一	学校教育課長補佐兼指導主査	小山 克成
学校教育課学校財務主査	安部 裕子	学校教育課保健給食担当	高橋 紀子

3 会議次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 協議
 - (1) 米沢市学校給食検討委員会報告書(案)について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉会

○教育指導部長

————— 第7回検討委員会開催の経緯について —————

修正案に対し、多数御意見をいただいたことから、紙面です承をえるよりも、委員会を再度開催して御確認いただき、報告書としてまとめたいと考えたもの。

御意見を受けどのように反映するか検討し、新たな視点や文言の意見もあったが、報告書であるため前回まで出された意見をまとめさせていただいた。

本日欠席の井上委員、田中委員からは最終案に対し了承を得ており、細かい修正に関しては委員長に一任する旨確認している。

3 協 議

○委員長

学校給食検討委員会報告書(案)と報告書(案)に対する意見への回答を事前に送付した。
その資料について事務局から。

○学校教育課長

————— 資料に基づき説明 —————

(以下、1はじめにを1、2本市学校給食のあり方については2、3本市学校給食の課題については3、4本市学校給食の実施方法については4と記載。)

○委員長

文言の修正等に関しては説明のとおりで、追記した部分もあるし、協議されなかった部分は組み込めない。第6回までいただいた御意見に関し、修正する、修正しないの判断をした。

内容について大幅な変更はないが、追記や文言の修正をしているので、委員の皆さんから御意見をいただきたい。

○委員

3の部分で、「本市の学校給食の抱える課題について、次のような項目があげられた」とあるが、これについては教育委員会から提示のあったものなので、事務局から提示のあった内容を検討したと、わかりやすい文章にして欲しい。

○委員長

たたき台として事務局から出されたものもあるが、検討委員会の中で協議されたものも多々記載されている。施設整備や運営に関する課題すべてが事務局から出されたものではないと思うがどうか。

○委員

たたき台として出され、委員会の中で検討を加えたものだと捉えているので、委員会での総意ということで良いと思う。

○委員

3の(1)の部分については、事務局から提示のあったものだけではないと認識している。

○委員

どこからあげられたかを具体的に明記するのであれば、給食検討委員会の中であげられた。または、給食検討委員会及び教育委員会からあげられたと記入すれば良いのではないか。

○委員長

委員会であげられたものと具体的に表すのであれば、本委員会という文言を追加するのが良いのではないか。一方的に教育委員会ということにはならないと思う。

「本委員会で次のような事項があげられた」と修正して良いか。

(異論がないようなので)他に意見はないか。

○委員

1の最後に「なお、この検討に当たっては、各調理方式を実施するための費用等については考慮していない」とあり、4でも「なお、この検討委員会では、施設整備や管理運営等に

かかる経費に関しては検討しておらず～」とダブって出ている。1の部分は削除し、4を生かしたほうが良いと思う。

その際、「この検討委員会では、子ども達にとって望ましい学校給食のあり方について検討を行い、施設設備や管理運営等にかかる経費に関しては検討していない。」としたほうが、検討にあたっては、経費のことではなく、より良い学校給食を進めるための検討を行ったということがわかると思う。

○委員長

なお書きの部分がダブっているので、前の部分を削ったほうが良いという意見。削っても良いのではないかと思います。

また、子ども達にとって望ましい学校給食のあり方～を先に持ってくるのは、委員会の検討の中身として筋が通るので良いと思うがどうか。

○教育指導部長

1の「本市の学校給食の現状と課題を踏まえ、今後の学校給食の望ましい姿を中心に～」とあるが、この部分についても4とダブっているので、例えば「今後の学校給食について様々な意見を出し合い、そのための調理方式の検討を行った」とし、内容については4にまとめるというのはいかがでしょうか。

○委員長

「今後の学校給食のあり方を中心に様々な意見を出し合い、そのための調理方式の検討を行った」という文言で良いか。

(異論がないようなので) 以上のように修正する。

○委員

「自校方式では」の部分で、食育についての意見の中で、栄養教諭による食育の取組みについて出されたと思う。現在、米沢市の学校には栄養教諭が8名配置されている。センターでは、米沢市の規模であれば2名の栄養教諭が配置され、栄養教諭が学校に行っても、お客様扱いのような状況になるという意見があった。自校方式のほうが食育の取組みができるというメリットがあると思うので、「自校方式では、学校に栄養教諭が配属され、食育がより推進できる」という文言を付け加えていただきたい。

○委員長

今まで、そのような議論はなかったと思うが。

○委員

センターに配属された栄養教諭が、各学校に行って食教育をするとお客様扱いされるという意見は出ていた。

○委員

文言は覚えていないが、センターに限らず、自校給食であっても所属校以外は呼ばれる立場であることには変わらない。センターになると、担当する学校が5～6校になるということだけだと思う。

○委員長

センター方式になったらこうだという話ではなかったと思う。

○委員

センターのときの意見だった。

○委員

所属校以外の担当校は基本呼ばれる側というのはある。食数に対しての配置の数としては、法律上6,000食以下であれば2名という事実だけ。今、加配で栄養教諭を付けてもらっているので、県の配置だと8名は付かないと思う。

○委員長

あまりそこを強調しすぎると、そんなにいなかったのではないかという話にもなりかねない。

○教育指導部長

栄養教諭あるいは学校栄養職員の配置の基準について確認したい。センター方式では6,000食までは2名。自校調理場を持つ学校では、550食を超える場合には定数として1が入る。550食に満たない場合は4分の1人となるので、そのような学校が4校集まれば1名付くという計算方法になっている。

本市の場合、今年度は6,75人となり、それに対し定数として付いているのが7名、市として1名の合計8名入っている。小学校は18校あるがそれに対して8名なので、自校方式にすれば必ず1名入るということではなく、先ほどの御意見では誤解を生むのではないかと思う。

栄養教諭が入っていない学校については、役割分担をして見ていただいているが、その場合は呼ばれるという立場で、センターとして呼ばれる立場と変わらないという御意見だったと思う。

○委員長

食育の点では良いと思うが、今回食育の件に関してはあまり検討していない。学校給食のあり方ということであれば、そこを入れる必要があるのかどうか。

○委員

難しく考えていると思う。単純に考えれば学校給食は食教育なので、食教育をより推進できるのは、センターに2名いるよりは、学校に配属された栄養士がいるほうがより食教育が推進できる。単純に考えればそうだと思うのでその文言を入れて欲しい。

○委員長

実際にそのようになっているので、それを改めて入れる必要があるのかどうか。

○委員

自校方式のメリットのところに、その文言を入れて欲しい。子ども達にとっての食教育の推進が学校給食の目的だと思っているので、それがより可能になる方法は、栄養士が学校に配属されていることだと思う。

○委員

言ってることは十分にわかる。確かに自校にいればその学校の食育は進みそうな気もするが、基本的に食育というのは、栄養教諭や学校栄養士だけがするのではなく、学校全体で

取り組むことであって、それに対して栄養教諭がコーディネートする。担任の先生にどのように食育を進めてもらうか、学校の中で食育を進めるための調整役であると考えている。

他の学校に対しても、学校独自の食育のプランがあったところに、担当の栄養教諭や学校栄養士が行って、そこで一緒に取り組むことが食育なので、それがセンターだと受け持つ学校が多くなるだけであって、その学校が食育をどのように考えているかによって、たくさん呼ばれたり、全く呼ばれないこともある。

結局は、学校がどのように食育を進めて行きたいかによって変わってくる。食育に関しては、少ない人数の栄養教諭が色々なところに動くのは大変だが、今回の議論に関しては、食育が自校だから進むとか、センターだと進まないというイメージが持たれるような文言を残すことはどうかと思う。

栄養教諭を呼ばなくても、食育を進めている学校があるかもしれない。

○委員

自校方式のメリットとして考えたとき、栄養教諭が配置されることが自校方式のメリットとして捉えられるのは違うと思う。

○委員長

文部科学省は食育という言葉を使っていない。生きる力ということで、様々な教科科目が合体した形で生きる力を育むとなっている。食だけではない。そのようなことを考えると、あまり強調しすぎると逆に困るのではないかと思います。

(異論はないようなので) 他にあるか。

○委員

3で、「親子方式の調理場は～特例許可を受ける必要がある。」の文言について、課題クリアのために特例許可もあるという話が委員会の中であったはず。特例許可が必要であるとなると、課題がとても大きく、クリアするのは難しいと感じられる。特例許可を受ければできるという方向性の文言に変えて欲しい。

また、緩和措置として、床面積又は給食室の原動力等が基準時の1.2倍超えなければ許可申請は不要というものがあると思うので、否定的なものではなく、このような課題があっても緩和措置があるということを記載すべきだと思う。

○委員長

一定以上という文言を入れており、全てがということではない。一定以上の増床をするには許可がいる。

○委員

課題について様々な説明を受けた。課題がクリアできないような文言にすると、少し違うのではないかと感じた。今までの経緯がわからない人がこれを見たとき、特例許可を受ける必要があるで終わってしまうと、必要があるということだけが前に出てきて、特例許可を受ければ可能になるということが感じ取れないのではないかと思います。

○委員長

他の委員はどうか。

○委員

課題についてなので、ここに肯定的な文言が入ると課題ではなくなる。このことが課題だということなので問題はないと思う。

これを受けた方が、その課題に対しどう対応するかというところで、委員の今の話が出てくるのであって、ここは必要があるとしたほうが、相手に対し検討課題であることが伝わると思う。

他の文言も、課題を相手に対し問いかけるようにあげているので、ここだけ肯定的なものになるのは違うのではないかと感じた。

○委員長

問題点なので違和感はないと思うがどうか。

(異論はないようなので) 修正なしでこのままとする。

○委員

4の「給食センター方式については、代替食も含めた食物アレルギー対応ができること～」とあるが、ここでは、「小学校の給食実施日に左右されず中学校に給食提供ができる点において、親子方式よりも給食センター方式がよい」という意見が出ていたと思う。代替食も含めたアレルギー対応は、センターだから可能ということではなく、自校方式でも設備の改善や調理師の増員により可能だという意見があったと思う。食物アレルギーについては、次にも出てくるので、「代替食も含めた食物アレルギー対応ができること」は削除したほうが良いと思う。

○委員

現在、中学校は弁当または本人除去だが、センターにすれば代替食が提供できるということだったと思うがどうか。

○委員

中学校も自校方式にすれば、もっと綿密に代替食も含めたアレルギー対応ができると思う。この文言だと、センター方式のほうがアレルギー対応ができると捉えられるので、その部分を削除したほうが良いのではないか。

センターにおいて、全ての食物に対応できるとは限らないという話もあった。

○教育指導部長

この部分については、委員会において、現在の親子方式とセンターにした場合を考えた中で、センター方式は小学校の日程に左右にされない。現在の親子方式では、弁当または本人除去の対応になっており、そこと比較するとセンターでは除去食や代替食の提供が可能になる。全ての食物に対応するものではないが、今よりは良くなるのではないかという意見を受けたもので、自校方式と比較したものではない。

○委員長

何か意見はないか。

○委員

今の説明内容を誰が見てもわかるようにして欲しい。この内容だと、センター方式は、代替食も含めた食物アレルギー対応が全てできるように捉えられる。

現在のアレルギー対応は除去食のみなのでのように、わかりやすい文言を加えて欲しい。

○教育指導部長

3の(2)に、「食物アレルギーの対応は、小学校では除去食を提供しているが、中学校では本人除去となっており、十分な対応ができていない」と課題としてあげているので、ここで現状がわかるのではないかな。

○委員

自校方式が望ましいということは十分伝えている。それに代わる給食センター方式に関しても全くメリットがないわけではなく、子どもに安心した給食を提供できるという点も、伝えるべきことなので、あつてしかるべきだと思う。

決して、給食センター方式を押している文言ではないし、削る必要はないと捉えている。

○委員

この部分だけ読むと、給食センター方式は万能のように感じるので、文章の順番を入れ替えて、「給食センターにおけるアレルギー対応については、対応する食材を限定している～」の前に移動すれば、親子方式よりセンター方式が良いが、対応する食材を限定しているという並びになり、センター方式が万能ではないということが読み取れるのではないかな。

自校方式、親子方式、センター方式の順に並び、わかりやすいと思うがどうか。

○委員長

センター方式が万能であるかのように取られるのであれば、文言はそのまま配置を変えろということだがどうか。

(異論がないようなので) 配置を修正する。

それでは、このような形で報告書を提出するが良いかな。

○委員長

(異論がないようなので) 文言および配置を修正し、報告書として提出させていただく。

なお、今の修正については一任してもらえるかな。

○委員長

(異論がないようなので) 第7回検討委員会の協議を終了する。

4 その他

5 閉 会 12:15